

単元別問題

年 組 番 氏名

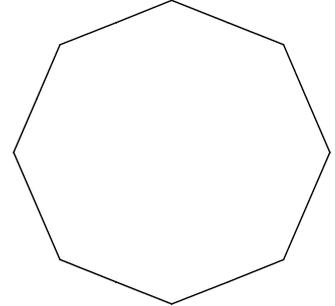
1

やよいさんは、次のように考えました。



やよいさん

八角形の角の大きさの和を求める式は、 180×6 になります。

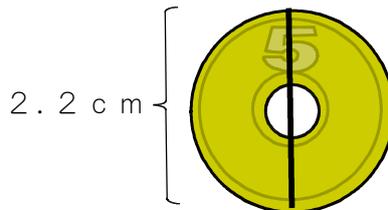
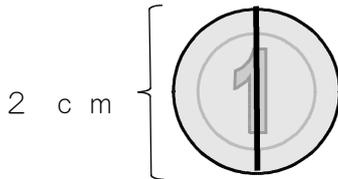


やよいさんがこのように考えたわけを下の言葉に続けて、「対角線」という言葉を使って説明しましょう。

八角形は、

2

日本の硬貨^{こうか}について、次の問題に答えましょう。ただし、円周率は3.14とします。



(1) 5円玉の直径は2.2 cmです。5円玉の円周の長さを求めましょう。

(2) 1円玉と5円玉を転がして、ちょうど5回転したところで止めたとき5円玉の方が遠くまで進んでいました。進んだ距離^{きょり}のちがいは何cmですか。



単元別問題

解答

1

(例)

八角形は、1つの頂点から対角線をかくと、6つの三角形に分けられます。

三角形の角の大きさの和は 180° なので、八角形の角の大きさの和は、 180×6 で求めることができます。

「対角線」という用語を使っており、次の①②が両方書かれていれば正答とする。

① 1つの頂点から対角線をかくと、6つの三角形に分けられること

② 三角形の角の大きさの和は 180° であること

①②の両方が書かれていても、論理的に正しくない場合は不正解とする。

2 (1)

6.908 cm

(計算) 直径 $\times 3.14$

$$2.2 \times 3.14 = 6.908$$

(2)

3.14 cm

(計算)

$$1 \text{円玉} : 2 \times 3.14 \times 5 = 31.4$$

$$5 \text{円玉} : 2.2 \times 3.14 \times 5 = 34.54$$

$$34.54 - 31.4 = 3.14$$